



Georgia



ウクライナ

★ キエフ

モルドバ



ルーマニア

ブカレスト ★

★ ブルガリア

ソフィア

アゾフ海

黒海

★ アンカラ

トルコ



is



カスピ海

グルジア

トビリシ★

アルメニア

★ エレバン

アゼルバイジャン

バク★



ヨーロッパとアジアの境にあるジョージアは独特で且つ、多様性のある国です。コーカサス山脈、黒海海岸、温暖な気候、ミネラルウォーター、国立公園とユネスコの世界遺産、古代の歴史、多様な文化と伝統、おいしい料理、豊かなワイン文化、そしてなによりも世界でも類をみないジョージア人による素晴らしい「おもてなしの心」といった多くを、この小さな国の中に見い出すことができます。



ようこそジョージアへ！

小さな国でありながらたくさんの魅力がつまったこのジョージアを、ぜひ訪れてみませんか。

この国は、東西世界を結ぶ十字路に位置しています。何千年もの間、商人や旅行者はシルク・ロード経由でこの地を訪れ、その結果多くのユネスコ世界遺産を含む文化や音楽、そして歴史的な記念碑に、今日も彼らの遺した足跡を垣間見ることができます。

トビリシの旧市街建築から、カヘティ地方に広がるブドウ畑にかけて、そしてスヴァネティ地方の古い石造りの塔からバトゥミの海岸とナイトライフにいたるまで、すべての人を魅了してやまない何かがあるここにはあります。例えば、ヨーロッパの最高峰、コーカサス山脈での朝スキーを楽しみ、そして夕べは黒海のビーチリゾート海岸で存分にリラックスすることが

1日の中でできます。また、ジョージア料理に舌鼓を打ちながら、ジョージアの伝統的なワイン（ワインはグルジアが発祥の地）をジョージア独特の宴会（スプラ）を体験し翌日は天然の温泉やサウナでも思いきりリフレッシュすることもできるのです。

これらジョージアならではのおもてなし精神と独特の文化と共に体験できます。また、この国固有のアルファベットと言語、世界でも名の知られた多くの芸術家たちの母国として、ジョージアは訪れる人をあらゆる面で、驚かせ、喜ばせるでしょう。

休暇の過ごし方はさまざまですが、人生の最高のひとときのために、ぜひ、ジョージアを訪れてみませんか。

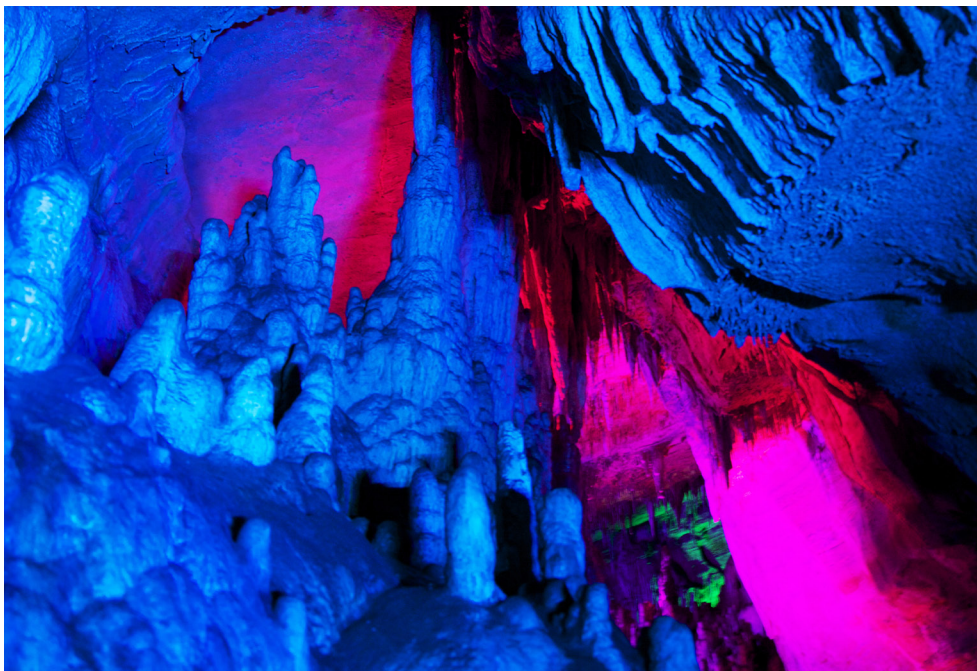
歴史

ジョージアを旅するとき、最も驚きに値することのひとつに、教会の数の多さが挙げられます。グルジアは、最も早くキリスト教に皈依した国のうちの一つですが(337年)、民族の歴史は遥かにそれをさかのぼっています。

180万年前の初期の人類の遺骨が、首都トビリシの近くで発見されました。ギリシア神話に出てくる金羊毛の伝説は、グルジアで羊の皮を使って急流から金を採取するという独特の手法に端を発しています。

ジョージアは長い間にわたる、王位継承者や侵略者の支配の変遷に伴って、首都と国境も変わる王国でした。それはダヴィッド王からタマル王妃にいたるまで、そしてモンゴル人、ペルシア人、オスマン・トルコの侵略から帝政ロシアの支配の時代まで続きました。それぞれの時代に統治の爪痕が残されましたが、ジョージアの真髄にある精神、ジョージアの魂は変わることなく、今日まで輝きを保ち続けています。









文化

ジョージアでは、「お客様は神様からの贈り物」と言われています。どこに訪れたり泊まったりしても、温かくて純朴なもてなしの心があることに誰もが驚くことでしょう。伝統的な夕食（ジョージア語ではスプラ）を囲む時、素晴らしい料理だけではなく、何千年もの歳月をかけ、地元で作られたワインも味わうことができます。ジョージアでは、これまで500種類以上ものブドウが植えられています。ジョージアワインは2013年ユネスコの無形文化遺産（世界遺産）にされました。

また、ジョージアン・ポリフォニー（多声音楽）もユネスコが世界無形文化遺産に登録されてました。ジョージアの伝統的な踊りと共に、ぜひ、ご鑑賞ください。

ジョージアの建築遺産は、他に類をみない魅力にあふれています。それは教会やフレスコ画にみられるだけでなく、そのほか多くの歴史的な建造物にも同様のことがいえるでしょう。

知っていますか…、じつは。



ヨーロッパ最初の人類

180万年前の初期の人類の遺骨が、ここジョージアで発見されました。これは、アフリカ大陸に次ぐ最古の人類の鍵となる、初めての画期的な発見です。

ヨーロッパとアジアの交差点

ジョージアでは、歴史的な文化遺産を通して2つの大陸の多様性の混在をうかがい知ることができます。

最古のキリスト教国

ジョージアは、337年にキリスト教を国教として認めた世界でも最初の国のひとつです。

ヨーロッパの最高峰にある集落

スヴァネティ地方のウシュグリ村は、ヨーロッパでもっとも標高の高い場所にある集落で、その高さは海拔2,300メートルにおよびます。

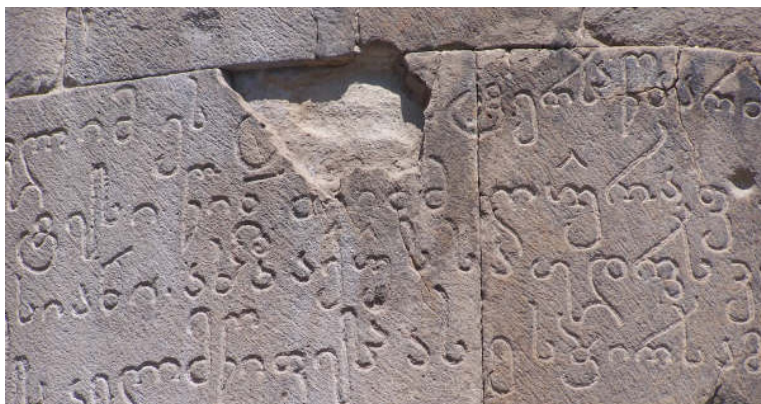






ワイン生誕の地

考古学上の発見により、ジョージアのワイン文化は7000年前の長きにわたって存在していると証明されており、ワイン生誕の地といっても過言ではないでしょう。



独特な文字

ジョージア語は、世界にある14種類ある表音文字体(アルファベット)のひとつです。



温泉と温泉街

103の湯治場と2,400以上のミネラルウォーターの水源地の存在によって、ジョージアでは何千年もの間、温泉を中心とした生活が営まれてきた事がわかります。

トビリシが国の首都として選ばれたのは、このような多くの天然の硫黄泉が、この街の中心部で発見されたためであるといえます。

地中海性気候と他に類をみないジョージア人によるもてなしと共に、これらすべてについてあわせて考えてみると、ジョージアほど独特な旅の目的地は考えられないのではないのでしょうか。

ヨーロッパでも比類なき、手つかずの豊かな自然

69,700平km²という国土の小ささに相反するかのように、ジョージアには生物多様性がみられます。亜熱帯の沼地、半砂漠、素晴らしい高山や草原、強力な山の雪頂上といった地形は、お互い100kmと離れていない場所に共存しています。また、ここには40以上もの保護区があります。ジョージアの実に多くの土地が、人によって荒らされることなく、手つかずのまま残されています。



ぜひ、一度ここへ来て、自分の目でこのすばらしさを確かめてみてください！

みどころ

小さな国土でありながらも、数え切れないほどある見どころの中からあなたの旅行を理想的なものとするために、いくつかの過ごし方をご紹介します。

トビリシ旧市街を歩きながら、すばらしい建築物や、ヨーロッパ風のコーヒー文化を満喫してください。

ウシュグリでホームステイをしたり、いずれかの国立公園のキャンプを試してみてください。

夏にコーカサス山脈のトレッキングをしてみてください。

カヘティ地方へのワインツアーで地元のブドウ畑で生産された、百年もののワインを試飲してみてください。

城壁に囲まれたシグナギの街を訪れてみてください。

氷河が溶けてできた急流で、ラフティングをしてみてください。

洞穴の町で知られるヴァルジアにある、修道院を静かに訪れてみてください。

イメレティの街の洞穴を流れる川からボートに乗って、地下の世界へ潜りにいってみてください。

ヨーロッパの最高峰のひとつ、グダウリ・バクリアニ、またはメスティアでスキーをしてみてください。そして真の冒険ともいえる、ヘリスキーへも挑戦してみてください。

トビリシの中心部にある温泉で、伝統的なサウナを楽しんでください。

ジョージアの伝統的な食事(スプラ)の場で、で新しい友達を作ってみてください。

これらの提案は、ジョージアでのひとときを人生で最高の思い出の手助けとなる、ささやかなアドバイスの一部です。







訪問者向けの情報

ビザ要件

すべての訪問者はパスポートが必要です。パスポートの残存期間は少なくとも6カ月以上でなければなりません。

アメリカ、カナダ、日本、イスラエル、レバノン、ロシア、ヨーロッパ連合の国々、湾岸協力会議の国々など、トルクメニスタンを除くCIS(独立国家共同体)の国々はビザが要りません。

詳しくは、ジョージア外務省のウェブサイトを確認してください：
www.mfa.gov.ge

到着 飛行機で

トビリシへの直航便はヨーロッパとアジアの多くの国から出ています。例えば：アムステルダム、ブラハ、ミュンヘン、リガ、ウィーン、フランクフルト、ワルシャワ、イスタンブール、ドバイ、テルアビブ、アテネ、バクー、モスクワ、ローマ、エカテリンブルク、キエフ、ミンスク、アルマトイ、アスタナ、アクタウ、テヘラン、ウルムチなどです。

イスタンブールは、トビリシ国際空港を世界の主要都市に接続する主なハブ空港です。

バスで

主にトビリシ行きのバスは、毎日、バクー、イスタンブール、アンカラ、トラブゾン、エレバンとアテネから出ます。

電車で

ジョージアはアルメニアやアゼルバイジャンにつながる鉄道が走っており、バクーからの電車が毎日出発します。詳しい情報や時刻表については、次のウェブサイトを確認してください：
www.railway.ge

海路で

ウクライナのイリチェヴスクとオデッサの港からフェリーで来ることができます。

宿泊

トビリシやバトゥミはホテルのすべてのタイプがあって、四つ星ホテルもあり、普通の家庭的なホテルやホステルもあります。郊外でも朝食とベッドのある三つ星のホテルで泊まることができます。

料理

トビリシの多くのレストランでは、ジョージア料理とともにさまざまな国の伝統的な料理を提供します。一方、ほかの地方のレストランではジョージアの伝統的な料理を中心に提供されます。

気候

国土が狭小であるにもかかわらず、地方によって気候は大きく異なります。それはコーカサス山脈のおかげです。大コーカサス山脈は北方から来る寒気から、小コーカサス山脈は南方から来る乾いた空気からジョージアを守っています。平均気温は19度から22度で、冬はマイナス1.5度からプラス3度です。

通貨

主要通貨はジョージアのリリ(GEL)で、1リリは100テトリです。

1リリ=0.46ユーロ、1リリ=0.60ドル(2012年1月)。

大きなホテルではクレジットカードが使えますが、主要な都市を離れ地方に行く場合は確認が必要です。ATMは主要な都市で使えます。

電圧とプラグ

電圧は220ボルト、50ヘルツです。ジョージア全土でヨーロッパの標準的なプラグ(Cタイプ)が使用できます。

通信

ジョージアの国別局番は+995で、トビリシのエリアコードは322です。ジョージアの携帯電話会社は(GEOCELL, MAGTICOM, BEELINE)の3社がほぼ全国をカバーしています。

また、訪問者へは無料でインターネットが提供され、多くのWi-Fiゾーンが利用できます。

健康

緊急の場合(救急車)の電話番号は112です。詳しい情報については、次のウェブサイトを確認してください：
www.georgia.travel

各紙による推薦のことは

the guardian

「ウィンタースポーツが好きな人や、多くの大都会を知り尽くしてしまった人には、是非ジョージアを旅することがお薦めだ。この国は、歴史的な教会や要塞が点在する山々や、スヴァネティアカズベギといった美しい町、そしてヨーロッパとアジアが交わる首都トビリシを見に訪れる、多くの観光客を絶えず惹きつけている。」

「2012年度のトラベルカレンダー」の1枚
(「ザ・ガーディアン」)

「「ジョージアとこの国を代表する産物ともいえるワインは、まだ原石のような状態にある。もし、真の意味での味わい深い旅を望む者にとって、ジョージアの地は決して期待を裏切ることはないだろう。」

「世界で脚光を浴びつつある、スキ一の楽園」
イザベル・レゲロン、ワイン専門家 および 司会者



The New York Times
Expect the World®

「2011年に訪れたい、41の場所」に選ばれる

「ザ・ニューヨーク・タイムズ」

「高所恐怖症の人には、トゥシェティ行きはかなりの冒険となるであろう。コーカサス山脈の奥地に、目くらむような険しい山の頂に、心もとないが絵に描いたような村々がひっそりとたたずんでいる。」

「世界の12の前代未聞の地のひとつとして、数えられるだろう」

